

## イベントプログラム研究部会（第2回）

日時：6月19日（金）10：00～12：00	会場：JSC プロジェクトルーム
出席者：橋爪紳也（部会長）、荒木裕司、岩崎博、梶原貞幸、 宮島啓輔、渡部雅隆 [オブザーバー] 浅井亮一、金子健、永井利幸、松田友治、 松本眞一 [事務局] 小林政則、加藤淑子、内田なお子 資料：・大阪城 PMO 事業概要 ・天王寺公園魅力創出事業概要 ・「ツーリズムの都市デザイン」	
<b>おもな議題</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 新国立競技場の施設概要と周辺開発状況について</li><li>2) スポーツ施設とパークマネジメント</li><li>3) 会員加入手続きについて</li></ol>	
<b>おもな内容</b> <p><u>1) 新国立競技場の施設概要と周辺開発状況について（担当：宮島）</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新国立競技場周辺の土地所有者の説明</li><li>・サッカーモード(8万席)、ラグビーモード(7万2千席)、アスレチックモード、文化イベントモード別の場内レイアウト説明。大型スクリーンは南北に2カ所設置</li><li>・文化イベントは改築前年2回から年6回（12公演）に拡充を計画</li><li>・駐車場台数は345台、常設のショップ(1階)と常設のレストラン(2階)を予定</li><li>・3階はホスピタリティゾーンエリアとして完全屋内化して、年間BOXシートを販売。ホスピタリティ強化による増収を計画</li><li>・海外スタジアムの事例紹介。（トウイックム、メルセデスベンツアリーナー、ウェンブリー）新国立競技場では、付帯施設で客を呼ぶ工夫を重視</li></ul> <p>[意見交換]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海外事例の運営上の採算性を知りたい。（梶原） &gt;&gt;紹介した3事例は上手くいっている。</li><li>・中国で企業色が強く打ち出されているのは印象的。日本の公の施設でホスピタリティがどれだけ実現できるのか興味深い。大リーグのスタジアムは超VIPシートもあり、チケットの価格格差も大きくなっている。（橋爪） &gt;&gt;BOXシートの価格は権利の幅に大きく左右される。権利のコーディネートが重要で、コンサートが含まれるかは、主催者側との協議が必要もあり検討中。</li><li>・人工地盤の下のスペースには何ができるのか知りたい。 &gt;&gt;公開空地に該当する。広いスペースで常設ものは不可だが、仮設の施設で賑わいあるスペースにすることは可能。従来は千駄ヶ谷側が正面としてきたが、外苑側の賑わいを設計者も想定している。青山通りからの誘導も視野に計画している。</li></ul>	

都心でありながら繁華街ではない現状を変える、人を動かす仕掛けが重要。

- ・ 子供向けの施設は何か検討しているのか知りたい。  
 >> 託児所やキッズスペース等は検討している。

## 2) スポーツ施設とパークマネジメント（橋爪部会長）

この研究部会では、新国立競技場に限定せず、スタジアムやアリーナで従来無かったイベントを、いかに実施させるかを研究することが大きなテーマ。スタジアムを中心にした周辺エリアを含む、フェスティバル型の考え方も研究したい。

従来は無かった出来事を実現させるプロセスもイベントであると考える。

- ・ 「ツーリズムの都市デザイン」紹介

ロンドン五輪のレガシー（スマートなゴミ箱、シンボルタワー、観光地としての写真撮影ポイントの必要性）

- ・ 大阪城公園 PMO 事業の概要

20 年間民間の共同事業体による運営により（2015 年 4 月～）、行政の持ち出しゼロに加え納付金収入の還元。

Red ブルの事例（大阪城、幕張海浜公園）を現行法で可能なスキームとして紹介。

- ・ 天王寺公園魅力創出事業概要

2015 年 10 月 1 日より 20 年間民間が管理運営をスタート。公的施設の管理運営を民間に委託し、賑わい創出事業を展開予定。

## その他

- 3) 会員加入手続きについて（小林事務室長）